

## プロのお仕事

教育相談専門員 沼波かおり

昼間バスに乗ると、ほとんどが自分より高齢の方々だ。先日もバス停近くで、バスを見て必死に走っている老夫婦に遭遇した。その日の運転手さんはゆっくりバスを発車させてくれ、老夫婦は無事乗れた。ほっとした。高齢者になると、どうしてもバスの乗降にも時間がかかる。中にはイライラを態度に表わす運転手さんもないわけではない。



最近バス停案内もアナウンステープなので、基本的に運転手さんはほとんど無言でOKなのだが、右左折するときや段差があるときなど、丁寧にアナウンスしてくれる人もいて、そういう人は決まって、子どもにも学生にも、もちろんお年寄りにもやさしい。こういうバスに乗れた日はラッキーだ。一日気分がいい。逆にイライラした運転手さんの時は、今朝夫婦げんかしたのかなとか、上司に何か言われたのかなとか、勝手に妄想する。そしてバスから降りるときには、思いっきり笑顔で力強く「ありがとうございましたあ」と言うことにしている。

父が倒れ、認知症とわかったとき、助けてくれたのは「ケアマネ」さんだった。自分よりずっと若い女性だったが、病院や役所のさまざまな手続き、申請書類の書き方など、てきぱきとわかりやすく教えてくれた。「平日の9時から17時までならどんなことにも相談に乗ります」「あなたが自分の生活を壊さない方法を一緒に考えましょう」と言ってくれた。そのときの言葉は、途方に暮れていた自分にとっては大きな救いになった。彼女は父の担当から外れた後も、ときおり父のいる施設をのぞいてくれた。これぞ、プロのお仕事だと思った。自分の仕事に誇りをもっていなければならないことだ。

教育の現場にもどったあと、これまでの教師としての自分を猛省した。はたして自分は保護者や生徒の皆さんに接するとき、あのケアマネさんや運転手さんのようにできただろうか・・・と。必要なサービスはもちろんのこと、それ以外にも、マニュアルにはない「何か」を提供できるかどうか、今日も試されつつ、プロのお仕事を目指したいと強く思うのだ。

本校には次のカウンセラーの先生方が毎年来校されます。「辛いけれど、どうしていいかわからない」という人、「よく眠れない」「食欲がない」「体調が良くない」などの症状がある人は、ぜひ先生方に相談してみてください。秘密は守られますので安心してください。

### 《カウンセラーの先生と6月の相談日》

- 沼波 かおり先生 (本校教育相談専門員)  
毎週火曜日、木曜日 午後1時～6時 (前期中間考査期間は除く)
- 堀 智哉先生 (各務原病院 臨床心理士)  
毎週月曜日、金曜日 午後7時～9時 (前期中間考査期間は除く)
- 鷲見 栄子先生 (社会福祉士)  
6月14日(水)、21日(水)、28日(水)、午後4時～6時

☆ 生徒のみなさんへ…面談は予約制です。HR担任、教育相談係(教育相談室:本館3階)、養護教諭(保健室:本館1階)の先生のいずれかに申し込んでください。

★ 保護者の方へ…カウンセラーの先生との面談は、保護者の方のみでも受け付けます。お申し込みは、定時制教育相談係(長瀬・服部・松原)までお願いします。

電話番号は(058)275-7185です。どうぞお気軽に申し込んでください。

★本校の特別支援教育コーディネーターは、服部と松原です。何かございましたら、遠慮なくご相談ください。